

1. ブラジル 2. イタリア 3. インド 4. ガーナ

1. イギリス 2. ドイツ 3. イタリア 4. フランス

1. 移牧 2. 混合農業 3. 地中海式農業 4. 酪農

1. 北ヨーロッパと南極圏 2. 南ヨーロッパと北アフリカ 3. 西ヨーロッパと東ヨーロッパ 4. 西ヨーロッパと北アメリカ

1. 人口密度の高い国ほど国民総所得が低くなるため、東欧諸国では人口抑制が課題となっている。

2. 初期に加盟した西欧諸国と、後に加盟した東欧諸国の間に大きな経済格差が存在している。

3. 加盟時期が遅い国ほど一人あたりの国民総所得が高く、西欧諸国の経済を圧迫している。

4. 国土面積の広さに比例して国民総所得が増加するため、小国であるオランダの所得は低迷している。

1. 温室を利用して、冬の寒さを避けながらトマトやキュウリなどの夏野菜を生産している。

2. 生乳だけでなく、保存性の高いチーズやバターなどの乳製品を生産し、輸出も行っている。

3. 広大な牧場を移動しながら、羊やヤギの毛を採取して衣類の原料として出荷している。

4. 主に自給用として、トウモロコシやジャガイモなどの根菜類を家畜の飼料とともに生産している。

1. 偏西風を利用した風力発電に適さない地形であり、代替エネルギーとして原子力以外の選択肢がなかったから。
2. 北海で産出される天然ガスを全量輸出に回すため、国内の電力需要をすべて原子力で賄う方針を立てたから。
3. 化石燃料の自給率が低いため、エネルギーの安定供給と資源の海外依存度の低下を目指したから。
4. 広大な国土に未開発の石炭層が豊富に存在し、その燃焼効率を高める技術として導入したから。

1. 共通通貨ユーロの導入により、自国の金融政策が自由に行えなくなったことへの反発

2. 周辺諸国との領土問題が解決せず、安全保障上の不安が解消されなかったこと

3. 域内からの移民の流入が急増したことへの不満や、自国の伝統や文化が損なわれることへの懸念

4. 農産物の輸入自由化によって、国内の農業が壊滅的な打撃を受けたこと

1. 石灰岩が二酸化炭素を含む雨水や地下水によって溶かされ、独特のくぼ地や洞窟が形成されている。

2. サンゴ礁の発達によって海岸線が取り囲まれ、波の静かな浅い海が広がっている。

3. 氷河の侵食によって削られた深い谷に海水が侵入し、細長く奥行きのある湾が形成されている。

4. 河川によって運ばれた土砂が河口付近に堆積し、平坦な地形が形成されている。

1. サウジアラビア 2. フランス 3. オーストラリア 4. ノルウェー

1. 英ポンド 2. 円 3. ユーロ 4. 米ドル

1. 寒流である北大西洋海流の影響で大気が冷やされるが、大陸から吹く季節風が温かい空気を運ぶため、冬の寒さが緩和される。
2. 赤道付近から北上する暖流と、極地方から南下する寒流がヨーロッパ西岸でぶつかり、その上昇気流を偏西風がとらえることで温暖になる。
3. 暖流である黒潮がヨーロッパ近海まで到達しており、大西洋から吹きつける偏西風がその熱を大陸の奥深くまで届けている。
4. 暖流である北大西洋海流の影響を受けた暖かい空気が、偏西風によって大陸に運ばれるため、緯度のわりに温暖になる。

1. 食料自給率が極めて低く、輸出に回せる農産物がほとんど存在しないため。
2. 原油や天然ガスといったエネルギー資源を豊富に産出し、世界各国へ供給しているため。
3. すべての近隣諸国と自由貿易協定を結び、関税を一切撤廃して輸入を制限しているため。
4. ハイテク産業が世界一の規模であり、スマートフォンなどの電化製品の輸出が中心であるため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 イタリア	ヨーロッパの先進工業国であるイタリアは、国土面積こそ日本の約8割程度ですが、高度な技術を用いた工業製品の輸出が盛んです。G7（主要7か国）の一員でもあり、1人あたりの国民総所得や貿易額が非常に高いという、先進国特有の経済的特徴を持っています。これに対し、ブラジルやインドは国土が広大で人口も多いものの、1人あたりの経済指標ではまだ先進国の水準には達していません。
問2	答え 3 イタリア	イタリアは、1980年代の国民投票の結果などを受けて、原子力発電所を稼働させない方針を継続しています。電力不足を補うために、国内での火力・水力・再生可能エネルギーによる発電に加え、フランスなど近隣諸国から電力を輸入することで需要に対応しています。
問3	答え 2 混合農業	ヨーロッパの中西部では、寒冷な気候や土壌の条件に合わせて、主食となる穀物栽培と、食肉用の家畜（牛や豚）の飼育を一つの農場内で並行して行っています。これを混合農業と呼び、家畜の排せつ物を堆肥として利用するなど、効率的な土地利用がなされているのが特徴です。
問4	答え 3 西ヨーロッパと東ヨーロッパ	ヨーロッパ連合は拡大を続ける中で、早くから経済発展を遂げたフランスやドイツなどの西ヨーロッパ諸国と、体制転換を経て加盟した東ヨーロッパ諸国を抱えることになりました。所得水準の高い西側と、比較的低い東側という「東西の経済格差」は、現在のEUが抱える最も重要な地域課題の一つとして地理の学習や入試でも頻出のポイントです。
問5	答え 2 初期に加盟した西欧諸国と、後に加盟した東欧諸国の間に大きな経済格差が存在している。	欧州連合（EU）の前身であるヨーロッパ共同体（EC）時代から加盟しているフランスやオランダなどの西欧諸国は、経済発展の歴史が長く一人あたりの国民総所得が高い傾向にあります。一方で、冷戦終結後、2000年代に入ってから加盟したブルガリアやルーマニアなどの東欧諸国は、依然として西欧諸国との間に大きな経済的な隔たりがあります。この格差は、域内の労働力の移動や経済支援のあり方をめぐる議論の背景となっています。
問6	答え 2 生乳だけでなく、保存性の高いチーズやバターなどの乳製品を生産し、輸出も行っている。	酪農は、乳牛を飼育して生乳を得るだけでなく、それらを加工してチーズやバターなどの乳製品を作ることを含みます。特に北欧諸国やデンマークでは、これらの乳製品が重要な輸出産業にもなっています。移動しながら家畜を飼うのは「遊牧」であり、野菜の温室栽培は「促成栽培」などに分類されるため、酪農の定義とは異なります。
問7	答え 3 化石燃料の自給率が低いため、エネルギーの安定供給と資源の海外依存度の低下を目指したから。	資源が乏しい国において、エネルギー供給を特定の国や地域からの輸入（化石燃料）に頼りすぎることは、国際情勢の変化による供給途絶のリスクを伴います。そのため、フランスは準国産エネルギーと位置付けられる原子力を推進し、エネルギーの安定確保を図ってきました。近年では再生可能エネルギーへの転換も議論されていますが、依然として原子力の割合が高い構造が続いています。
問8	答え 3 域内からの移民の流入が急増したことへの不満や、自国の伝統や文化が損なわれることへの懸念	イギリスのEU離脱（ブレグジット）の背景には、主に3つの大きな要因がありました。一つ目は、EU域内の比較的低所得の国から労働者が流入し、自国民の雇用が奪われるという「移民問題」です。二つ目は、EUの決定が自国の法律や政策に優先されることに対する主権回復の動きです。そして三つ目が、これらの変化によってイギリス独自の伝統や文化が失われてしまうという危機感です。共通通貨ユーロについては、イギリスは加盟中も導入せずポンドを維持していたため、離脱の直接的な「変更点」ではありません。
問9	答え 3 氷河の侵食によって削られた深い谷に海水が侵入し、細長く奥行きのある湾が形成されている。	ノルウェーなどの高緯度地域では、かつて存在した氷河の侵食作用によって削られた谷に海水が入り込み、フィヨルドと呼ばれる複雑な海岸線が形成されています。石灰岩が溶かされてできる地形はカルスト地形と呼ばれます。
問10	答え 2 フランス	フランスは国内に有力な化石燃料資源が乏しいため、1970年代の石油危機を契機に、エネルギーの安全保障と自給率向上の観点から原子力発電を国策として強力に推進しました。これに対し、ノルウェーは水力、オーストラリアは石炭、サウジアラビアは石油の供給割合が高いという特徴があります。
問11	答え 3 ユーロ	ヨーロッパ連合（EU）は、域内での経済活動を活発にするために市場の統合を進めており、その一環として共通通貨であるユーロを導入しました。これにより、国境を越えた商取引において両替の手間や為替リスクが解消されるというメリットがあります。イギリスのポンドのように、EU加盟国（または旧加盟国）であっても独自の通貨を維持している場合もありますが、共通通貨としてはユーロが正解です。
問12	答え 4 暖流である北大西洋海流の影響を受けた暖かい空気が、偏西風によって大陸に運ばれるため、緯度のわりに温暖になる。	ヨーロッパの気候において重要なのは「暖流」と「風」の相互作用です。北大西洋海流という暖流が海水の熱を北へ運び、その熱を偏西風が拾って大陸へと送り込むという因果関係を理解することが重要です。他の選択肢にある「寒流」や「季節風」、「黒潮」などは、ヨーロッパの気候を説明する要因としては誤りです。
問13	答え 2 原油や天然ガスといったエネルギー資源を豊富に産出し、世界各国へ供給しているため。	ロシアの貿易における最大の特徴は、広大な国土から得られる豊富な地下資源にあります。特に原油や天然ガスといった化石燃料の輸出額が非常に大きく、これが輸入額を圧倒する要因となっています。このような資源依存型の貿易構造により、輸出の割合が高い状態が続いています。